

リユニオン繋ぎ直せる奇跡

Reunion concert

出演者の紹介とご挨拶

コーロ・コニーリオ

校歌祭を機に79期合唱部員を中心に14名で2015年春に結成。
家事・子育て・親の介護・孫の世話・フルタイムワークの傍ら72期牛草栄里先生ご指導のもと月2回のペースで活動中。2020年以降リモートでの活動を余儀なくされるも、今春から対面練習を再開。還暦を迎える年によく舞台上に立てることに感謝しながら、結成時より歌い続けてきた松下耕さんのアカペラ曲の他、同期伊藤朋子さんの伴奏で、持ち歌2曲を心を一つにして歌います。

牛草 栄里

神奈川県立横浜平沼高等学校卒業。横浜国立大学教育学部音楽科卒業。
声楽を川口裕男氏、篠崎義昭氏に師事。指揮法を吉田孝古磨氏、小泉ひろし氏に師事。
元日本女声合唱団団員。現在、JIRA男声合唱団、女声合唱団コーロ・コニーリオの常任指揮者、横浜混声合唱団の副指揮者を務める。
かながわ合唱指揮者クラブ会員高校時代は合唱部部長。卒業後、女声合唱団シャンクール入団。大学卒業後に横浜混声合唱団、日本女声合唱団、東京チェンバークウィアを経て現在に至る。合唱歴は50年以上。『青春かながわ校歌祭』には第一回から参加。発声指導、指揮を務める。

小林 陽子

IT会社を退職し、母の介護を続けていた頃、ソフトボール部の先輩のお声かけで、真澄会事務局のホームページ担当となりました。私のスキルが同窓生の皆さんの絆に役立つことで、新たなやりがいがありました。先輩方には大変感謝しております。同じ頃より母のために歌を習い始め、貴重な経験をさせていただきました。そして、今回のリユニオンコンサートに同窓生の皆さんと出演できること、宝物のように感じています。

畔柳 美香子

「一生の友は高校時代に出会える」・・・自分自身も経験し、子供たちにもそう教えてきました。110周年記念イベントの際には、仕事と子育てに追われ観覧すらできませんでした。しかし、今回は尊敬する仲間たちのステージを目の前で見られるなんて・・・これほど幸せなことはありません。本日、ピアニストとして共演する加藤貴子さん(ヤマハシステム講師)も同じ歳。昨年から本格的にバンドとしてのライブ活動を再開しました。長い年月を通じて、苦楽を共有し、支えてくださった大切な友人たちへの感謝の気持ちを込めて歌いたいと思います。

押小路 珠左

40歳から始めたゴスペル、45歳で出会ったJAZZ VOCALは、唄うことの楽しさ、音楽の奥深さを教えてくれています。高校では、バスケットに熱中し、大奥と呼ばれた2年1組の教室には、いつも音楽が溢れていました。そして、それから40年以上の歳月を経て、ここへ繋がるとは！！『皆さまに感謝！』の気持ちを込めて、JAZZピアニストで、恐竜グッズ収集家でもある田村博さんとのDuoをお楽しみください。

仁瓶 美奈

平沼高校時代は、迷った末、バレーボール部に入って跳んで転んでの青春でした！それと共に好きだった音楽にも満ちていた日々でした。
2年時のクラスでは教室にグランドピアノが置いてあり、休み時間は誰かしらが弾いて、合唱部のメンバーが歌っていて♪
現在所属しているオーケストラの指導者の先生で先輩でもある、二宮先生からのご縁で、一緒に演奏させて頂く機会にめぐまれ、同級生との再会！！
還暦の奇跡と、最高のプレゼントを頂きました。

佐藤 さゆり

音楽室に置かれた木目のグランドピアノで初めて弾いた曲がショパンのバラード1番でした。個性豊かな先輩方やいきなりショパンのスケルツォを弾き出す同学年男子。刺激に満ちた音楽室が日が経つにつれ仲間とおしゃべりしたり練習したり、時には一夫先生手づから淹れて下さるコーヒーをご馳走になったりと心地良い居場所になりました。還暦を迎え指は回らなくなりましたが、当時に思いを馳せながら、皆さまの心に届くよう弾きたいと思います。